

# 風地蔵新聞

第122号

発行 編集  
風地蔵 美帆  
白石 美帆  
〒503-0922  
岐阜県大垣市  
馬場町85

ヤフーブログ  
毎日更新中

炎の女みほ日記

http://blogs.yahoo.co.jp/rion5230

温たまろー  
大橋 美紀  
この季節になると我が家では鍋がよく食卓に上がります。皆さんの自宅もきっとそうだと思いますが、家々でそれぞれ好みがあると思います。我が家の一番人気はキムチ鍋です。市販のスープの素を使うんですが、その辛味だけでは物足りないのです。そこにコチュジャンを加え、辛味を足してスープを作ります。具材は、白菜、ニラ、ネギ、えのき、しめじ、豚

のライス肉とミンチをつかってネギや卵つなぎに小麦粉に調味料を入れ肉団子を作ります。そして、欠かさないので豆腐です。やっぱ鍋にはお豆腐を入れないと一番温まるのが豆腐ですよ。しめじは雑炊ですね。ごはんは前もって洗ってざるにあげておいて溶き卵、仕上げにネギを散らして出来上がり。鍋の中はきれいになくなりません。次に人気もつ鍋です。入れる野菜が少し変わり、白菜ではなくキャベツとなり、し

めはラーメンですね。この前、ミツカンのCMでやっている干切りキャベツに我が家では、大根、ニンジン、水菜を用意して出し汁の入った鍋に入れ、スライス豚肉でその野菜を巻きながらぼん酢、ごまだれにつけて食べます。なかなかシンプルでしたが、他の鍋よりもつと野菜が食べられる感じがしました。こつてり鍋もいいですが、さっぱり鍋もいいですね。寒くなるのは嫌ですが、主婦にとって

はレパートリーも増えますし、鍋は仕度もとっても簡単です。何品も作らなくてもいいし、酒の肴も少ないし。洗いものも少ないしと、鍋は今夜何にしようかなと悩んだ時にも本当に助かっています。また鍋」と言われる時もあります。また鍋」と言われたい様に鍋のレパートリーを増やしています。今、市販のスープの素がとつてもバラエティで助かっています。昔は考えられなかったトマト鍋や、チーズ鍋、カレー鍋と我が家でもいろいろレンジしています。

カレー鍋はちよつと評判が悪かったです。ネットで鍋のランキングをみると1位はやっぱり、キムチ鍋でした。2位はしゃぶしゃぶ 3位は水炊き 4位もつ鍋 5位寄せ鍋となっていました。変わり鍋よりも定番の鍋が人気が高いですね。皆さんの自宅は何鍋が人気ですか？どんな具材を入れますか？色々レパートリーを増やしていきたいです。ぜひ教えてください。あて先はこちら。rose@kazazizou.com (風地蔵新聞お便りコーナーまで) 寒い冬は鍋で温たまろーですね。

## 九州の空から

冬イルミネーション。大垣の近くなら「なばなの里」が、九州のハウステンボスの次に全国人気ラッシュに全国人がいる。博多駅でもホークスタウンのある百道浜でも、阿蘇ファームランドでもどこでもイルミネーションの盛り上がる季節だ。けれど、ここ数年、イルミを観たい

の灯籠にろうそくを入れ、優しく揺らめく田舎の風景が素晴らしかった。仕事終わって、走らされるダンナちゃんはおかしいけど、行ってみると、まんざらでもない様子だった。イルミより竹の明かり。おまえは風流だもんね」と言ってくれた言葉がうれしかった。人の手のぬくもりが、町おこしを盛り上げる九州の秋から冬への風物詩でした。



あまてらすです  
一九五七年一〇月、ソ連が世界初の人工衛星スプートニク一号の打ち上げに成功した。一月にはスプートニク二号が《ライカ》と云う雌犬を搭乗させ、人類に先駆けて宇宙への旅をしている。一方、宇宙開発でソ連に後れをとったアメリカでは「スプートニク・ショック」と云う言葉が生まれた。アメリカの第一号人工衛星は一九五八年に打ち上げたエクスプローラーである。蛇足乍ら、その「スプートニク」と云う名前を取って、一九五九年スウェーデンから宇宙服を身にまとった四人組工

レキ・グループ「ザ・スプートニクス」が誕生している。「霧のカレリア」「モスクワの灯」「ザ・ロケットマン」等。(いずれもレコードを持っている)その曲中にロシア民謡のメロディが入るなどして、親しみのある曲である。またリード・ギターのサウンドが数光年の遙かなる宇宙の彼方から響いて来る様な感じから《スペースサウンド》と呼ばれて一世風靡した。軌道修正しよう。一九六一年にはソ連から人類初の有人宇宙船「ボストーク一号」が打ち上げられ、一〇八分間の飛行後無事地球に帰還した。その時に搭乗した宇宙飛行士ガガー

リンは、記者会見で「地球は青かった」(日本語訳)と述べた事は有名だ。しかし実際にはこう云ったという「空は非常に暗かった。一方、地球は青みがかった」ともまた「ここに神は見当たらない」とも述べている。一九六九年アメリカはアポロ十一号を打上げ、人類で初めて月面に降り立った。その時に船長アームストロングは「これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍である」と云った事はよく知られている。そんな宇宙の小史から始まった今回「小型宇宙機への夢」と云うタイトルで一時間半各務原キャ

ンパスで、創機システムズの萩本氏の講演を聴いた。宇宙機の見る宇宙、小型飛行ロボット開発、参画の試み、会社では宇宙に対してどの様な事をしているのか、会社の概要や小型ロボットの設計・制作・販売、IT関連機器の設計・制作・販売、物作りによるシステム技術者の育成。等々をスライドやビデオを見ながら説明を聴いた。その後、宇宙の歴史は一三七億年と云われているが、宇宙空間に浮かぶハッブル宇宙望遠鏡が捉えた、七五〇〇光年の距離にある「カリナ星雲」や「ケンタウルス星団」、「ソンプレロ銀河」といった画像をスライドで観

ていると宇宙の神秘に魅せられてしまう。四六億年前に地球が誕生し、三五億年前には生命(有機分)が誕生し、そこから人はいかに誕生したのか。その進化の過程は、天文学的概念を超越して目に飛び込んでくる。そこで想い出した曲が、ニーチェの哲学書を読み、インスパイアされてリヒャルト・シュトラウスが作曲した《ツァラトゥストラはかく語りき》である。この本を二回読んでいたが、比喩が難しく中理解するのは困難だった事を覚えている。こつてり遥かなる宇宙の旅の講演は終わった。

# 川風

しらしいしほ

白石家爆裂忘年会っ

まるで絵のようなしあわせな 家族忘年会を 思い浮かべてた。

しよっぱなから、よくない。りおんが 夕方6時おわりで6時半には 必ず外に出てくるといって家で 5時50分には 出ようと思っただ。つまり、遅くても 5時30分には ダンナちゃんも帰ってくるだろう。。

冬場は、夏と違って早く暗くなるから、基礎工事は 室内と比べて終わるのも早い。

帰って来た。

雨だったんで、カッパで仕事して 手足部分がぬれてすぐ着替えるかと思っただ。そして 予定通りに・・・思えども、一向に着替える気配なし

み「そのままで行くこと？50分には 家出るよ。」

だ「オレ、迎えにはいかんよ。ここで待ってとく。」

じぶんは そっこうビールのんだるんやで、乗っとくだけやん。なんが きついとや！仕舞いには、じゃあ、オレは、ぼちぼち歩いていくけん。と言いつつ出した。

「あゝゝ そう！一人て飲みたいんなら、一人で飲みに行け！今日は、家族忘年会やぞ！勝手なことばかりいやがって！」

床をどどん踏みながら 捨て台詞でドアを出た。なんか、腹立つ！

風地蔵新聞  
この怒りはどこから来るのか分析した。

第123号 No.2  
「おれ、上手に、なかなかしゃべれんたい」って 言いよつたやん。あれは、リップサービスかっ！

しよせんつこついつことが！自分の忘年会の時は、職人仲間を あっち迎えに行つて、家と反対方向まで 送つて行つて 世話役くせに！！

我が子の 我が家の ことは いやなんか！！

あゝゝ 家族忘年会が 聞いてあきれれるわっ！！7時半の予約より、かな〜り早く着いてしまった。最近覚えた、サバの味！！

「サバの刺身と にこり梅酒と 水下さい。」

ひとりは、あとで来ると伝え、帰りは、りおんが運転するので、あたしも久しぶりに飲むんだ！！ 唯一飲める 梅酒

じが 登場する。 「おおゝ 30分もかかったぜ！きつかった〜！！」

「なんや、オレが真ん中や。」

りおんは ず〜と 携帯いぢり、だんなちゃんとはひとこししゃべれば それ以上続かない。

りおんが 聞いてないからこつち向いて、しゃべり出すので、反対方向向いた。

「あのね、いい加減にしてよ！まず、スタートから、パツラバラやろ！」

「あ、オレのことね、」

「そうたい！ おまえのことだわ！」

「りおん！家族忘年会できるとんやよ、なんで けいたいばつかりさわるとや！」

「おまえ！！飲み屋の女にはべらべら しゃべるくせになんで 家族には しゃべらんとや！！」

「いやくなんでそこや？」

「オレ、もう飲みに行きよらんし。」

だ「はいはい、わかったわかった。ごめんごめん。」

りおんも、な、それやめろ。」「ちよつと待って。これでやめる。くせつたい。」

を！！サバが来ると、りおんが さつと 箸を つける

「あら、これ、サバよ。食べきる？」

うん とうなづく

刺身が好きだから、きつとサバとか 意味わからずに食べるんだろ。アレルギーとかもあるけど、まあ、食いたいっていうし。

何も知らずに 生のサバをうまそうに バクバク食うりおん。

この店は ほんと、新鮮で安くうまい。

きつと りおんにとつて 初めての生サバが、この店でよかった。

しばらくくして うちのあるるならやめていいつたい。」

「み、いいわけないやろ〜！！」

「だ、まあ、聞けつて。」

「じゃあ、やめてすぐに次の日に、働く場所 あるとや？」

「日にち開けずにあるとならよかげ。りおんの人生たい。」

「み、そういう問題じゃ ないつたい！ あゝゝ とんだ家族忘年会やな！ もうよかつ！！」

もうカエル！！ 歩いて帰る！！」

りおん「 あんね、うちが辞めるわけなかな。」

「いぢいち うちの言葉を 本気で真に受けんで よかけん。うちが言うこと、聞き流せばいいとて。」

「み、いやゝ 無理！ うそでも言わんで！」

「あたしは いつでも 体当たりやん。20年も働いとるんやで、いろいろあるよ。だけん、たまに言うつたい。それと一緒に、うちの仕事も、キツイとよ。もし、うちが ハイジャック通したら どうなる？ 謝れば済む問題じゃないよ。誇りをもつて、やりよるとよ。けどね、いろいろあるつたい。そんな時はね、あゝ辞めてやる！ なるわけよ。」

「だから、たまに言わせて。言うだけなんやで。甘えて、気持ちを切り替えるために言うだけやけん。」

「り、それと、そこ！おかあさん！ 働けよ。」

だ「今度は、こつちや？」

り「なんで、家にあるんや？うちが休みの時、1日、みとつた。朝、弁当作つて、掃除して、洗濯して、昼になるやろ、サスペンス見て、寝てるわけよ。うちが、前に立つ

とくと、うつわ〜びつくりした〜！！つて 言うわけ。それじゃいかなんやん。みんな働けば、なんとかが暮らせるやん。」

だ「まあまあ、おかあさんは 経営者やっけん、仕事しよるし！！ 書類やら、なんやら、考えたり、朝も、まいにち、考えた事を、鎌澤さんにはなして 言つて聞かせたり、つましくいように しゃべつとるぜ。それでも、こないだまで、弁当屋に 行きよつたる。いま、りおんも 働きたけんなんとかなるけど、俺が、給料だけではしてやりきらんけん だけん、自分でつて。」

り「いや、わかるよ。でも、おかあさんに家におつて欲しいつたい。みえるように働いて ほしいと。そうしたら、うちと、お父さんの収入だけじゃなくなるやん。みんな、仕事きついでけん、家におられると、いらつとするとよ。そうすれば、お父さんだつて、自分でやるとか、言わんでよかる。」

「だ、いや、オレは本気よ。本気で、自分でやるうと思つた。日給月給で、いま、現場1よ、雨なら給料は出らん。オレは、おまえとりおんにもつと よか暮らし させてやりたかて 思うけん、はじめて 本気で考えよつたい。」

「み、はあゝゝ また、寝ほけたこと言いやがつて！」

「いまね、この時代にね、そうそう 仕事が 来るわけ ないやろ。仕事は、来るわけ ないやろ。」

りおん「 うん。わかつた。お母さんは静かにして。じゃあ、お父さんは、自分の仕事に自信がある。受けて、仕事ももらえるつて 自信があるんやな。」

だ「そうたい。」

り「じゃあ、もしも、思い通りに仕事になかつたら どうすつと？ 収入が、ない時はどうするか、考えとるわけ？」

だ「それよ！！」

もしもの時にどうするかを、考えて、それでも出来るんならいいよ。なんも 考えずにやりたいだけでは いかんやろ。」

だ「オレは、一人ならそやんこと 思わんだつた。」

「おまえたちに・・・」

「み、いやいや、あたしたちも 不安定を望んで無いけん。夢は応援するよ。2人の夢は、自分のこととして実現させろ！ けど、現状から逃げ出すようなことは手を貸さるん。1級免許取つたら、考

えらつて 言つたやん。それ

でもね、いまの状況が変わらんだつたりするなら あたしだつて 全力でやるよ。

けどね、今は、何が出来るか？ 経営つて そんな甘くないよ。いまみたいに、定時に帰れて、好きなこと言つて、酒のんで、8時にはいびきかいてグーグー寝て自分の不満を 口に出すなんて、ない。

仕事がないなら、率先して仕事さがさんし、不安で夜も眠れんし、いまみたいに自分の仕事のことだけ考えとればいいぢやないんやけん。」

だ「きびしかね。」

り「この前の、試験どうなつた？」

だ「あれね、2月に 結果出る。たぶん だめばい」

み「刺す！ 刺せつ！！」

り「じゃあ、今から勉強しなな。まっつとつて、どうすつと？1級の前に、まず、2級やる。それがとれたら、すぐ1級を受ける！」

だ「あんね、仕事して帰つて、ビール飲むやん。焼酎飲んだらね、もう、勉強したくないと。」

み「ほ〜らね！ こんなんで 太てえ〜ことばつた言う気がしれん。」

り「まあ、まっつとつてもいかなよ。自分でダメて思うなら、勉強しないかんやろ。うちだつて、試験があるつたい。長年、はたらいとるとに、なんの資格も持つてないとか、部下に示しが つかんやろ。けつこつ、むずかしいし、責任もつてくるつたい。」

だ「じゃ、一緒にやつか？」

り わつはつは〜

みんな、そう簡単じゃない現実を こつとして抱えながら生きているんだ。

まわりも ざわざわ していたけど、カウンターで 3人並んで、本音トーク炸裂

その様子の一部始終をあたしらの頭上の 「白石家 家族忘年会」の横断幕がひらひらと、嬉しそうに 熱気を帯びていただろう。

り「しめは ライメンたい！！一蘭行くばい！ いちらんっ！！」

マイプロガーの素晴らしい家族のようにはいかなない我が家だが、あのセリフを こつちから、言つてみた。

「なあゝ りおんっ どの家も、家族で 忘年会なんてしよらんとばいっ。うちだけよ。よかつたな。うちの子で。」

ちよつと立ち話

ここにアッキーナ来たのよね！住んでる所は遠いんだけど、こっちの家新聞が入ってて今回で近隣の心配りは終わりという事でご苦労様でした。(新聞は終わらず、風地蔵におきまーす。)そ

うなの。私もミーハーだからアッキーナが風地蔵に来たんだって。(お友達)ほら、競艇のCMに出てる子です。新聞はいつていた時は、「また入ってる」と思いましたが、入らなくなる

た。2カ月に1回になる時もあると思います。(揖斐川 細野さん)

志多らのこと、鎌澤さんよくまとめたね。すごい。志多らにも送らないと。新聞もらいに、月に一度、忘れないうちに来ないと。(杉原幸子さん)

成人式、ありましたね。私は行かなかったです。行かない代わりにエンジンエルの指はを記念に買いましたね。今は手元になっています。

社長の作文を読んで、老警官に怒りがふつと。大垣は確かにいなかですが、なにか？と。警察官が、なにか？と。警察官相手と忘れてケンカしている自信「大」です。言うこと言わないと気がすまない。志多らの演奏会は来年、

大橋さんと私は見に行きた事がないので2人で行動できません。見ないと感最近、納豆は朝じゃなく夜に食べます。消化がゆっくりなので、夜食食べたほうが効果があると前にテレビで見たことがあります。(原)

父が亡くなってから、5年になつた今、母は一人での行動もずいぶん平気になり10月に行われた大垣市民会館での志多らの公演にも一人で行ったんですが、感想を聞くと「よかったよー」の感想で、それ以上の感想は。何もなく伝えたくても言葉に出来ないんですよ。

店長のを読んでやっとなりきりました。母は母なりに色々感じたでしょう。きつと。

オーナーとりおんちゃん。よく似た親子ですよ。ね。とつてもパワフルで引き下らない。本場にすごい親子です。参りました。(大橋)

親の役目って色々だと思ふ。一度は行ってみたい。奥田さんも挑戦ですね。いつも前向きで見習わな

いとと思ひました。(鎌澤)

いとと思ひました。(鎌澤)

釣りは冬が旬ですよ。まさに釣りのシーズン！ダンナちゃんの釣好き仲間も毎週のように行ってます。そんなことより、我が店のマドンナが「誰が行ったの？」「海釣りにトイレとか、女は面倒だからよつぼぢぢやない

と連れて行かないよ」と、口マンチックな月の船に乗る謎の知人に軽く嫉妬する読者も多いかも。説明に鉄のヘルメット(笑)！一生懸命の人への思いやりの大きな返事にあた

かいものを感じました。よく作る鍋はシンプルに「湯どうぶ」と白石家お母さん譲りの豚しゃぶをにんにくポン酢で食べる。です。今夜は鍋にしようつと。(みほ)

海釣り

原 由里子

12月16日の夜に、知り合いに誘われて海釣りに行ってきました。次の日の17日が休みという事もあって。

本日は12月13日の夜に行く予定でしたが、この日は岐阜市で初冠雪。とにかく寒く風も強かつたので中止の連絡がありました。

目的地は三重県四日市の海です。狙う魚はスズキとハゼです。なぜ、釣りの経験の少ない私が、この寒い時期に釣りに行ったのか？

釣りをする知り合いに私「今度、釣りに連れて行って下さいよ。」

知「いいよ。12月に行くけど一緒に行く？」私「えっ？5月とか6月とかあたたかい時期がいいな」

知「そんな先なんか約束忘れてしまつ。」

私「ははは。そうですね。じゃ、連れて行って下さい。」

と、自分から言い出したのもあり、引くにもひけずこの寒い時期に釣りに行く事になりました。

この日は、風もなく穏やかな天気。波もなく、水面が鏡のように周りの景色を映していました。

こんな日は釣りをするのに最高だそうです。海まで行く道中、今日の釣りはどういう事をするのか説明して下さいました。

が、全くわからず説明が少ししか入ってこないです。まるで脳みそに鉄のヘルメットを覆い被せたかのように、コーディネートされていました。でも、一生懸命説明をして下さるので、いつもより大げさに、「うん。うん。」と「へっ。」と頷き、私も一生懸命聞い

ていました。目的地の四日市の海に到着です。

ボートに乗って釣りをするので、その用意があると私が下手に手伝わとジャマになるので、車の中で長靴に履き替え、防寒装備を済ませて、待機

て、船に乗り込み出発です。この日は満月の前の日で、月の光で意外に明るくタンカーなどが通る所でもあり、ライトで明るいです。

満月の日は釣りとかに影響があるのかと思ひ聞いてみると、漁師さんとかは海が明るいうから魚が捕れないというそうです。知り合いの人は、「満月でも関係ないけどね。」

その言葉通り、狙いの魚スズキは大きい从小さいのも入れて13〜14匹連れ来ました。大きいので45センチ

のが釣れました。けど、スズキといえる魚は70センチ以上なので、まだ子供だという事です。

私はちゃんとしたところに入れてあげないので、投げてもらってそれを受け取って、リールを巻いていました。

「私、ほとんどやつてもらってるから、釣ったとは言えないですね。」その知り合いは優しいので、

「でもリールの巻き方もあるから、釣っているよ。」と、結構気をつかってくれてるなと感じました。すいません。

船を移動して、仕掛けも変えてハゼ釣りです。ハゼ釣りは、2〜3匹釣り、小さいナマコを私が釣って終了しました。時間は、夜中3時30分

日が仕事だろうと関係なく1人でも釣りに行くと言っていました。

釣れた魚は、家に持って帰っても捌かないし、店長とかいらないうらと思ひ、知り合いに全部持って帰って頂きました。

休み明け。店長にその旨ふくめて話をすると、「なんで持ってきてくれなかつたんですか！」と言われた。

「欲しかったんですか？魚捌けるんですか？」と聞くと、「欲しかったですよ！捕れたてですよね！だんなが魚捌けるもん！」と大ブーイングでした。

大橋さんからも「何で持ってこなかつたんですか！夕飯のおかずー！」とこちらもブーイングでした。今度、釣りに行って釣れた時は持ってきますといいました。

名古屋ドーム

鎌澤 宣子

十一月十九日、初めてナゴヤドームに行ってきた。

お店のお客様のM先生に、「ナゴヤドームで、焼き物ワールドというイベントに出店するので、ぜひ見に来て下さい」とのお誘いを受けて、招待状を頂きまして。一人で出掛けることのない私が、プチ一人旅をしてきました。

M先生から事前に教えて頂いて金山駅まで行きました。二十代の頃、友達と郷ひろみのコンサートを観に行ったところ、当時金山駅から直接入れる会場で、なつかしく思い出しながら金山駅に着きました。金山から中央線に乗り換えて大曽根駅で降ります。ここからゆとりとライナーという直通的のバスが出てくるらしいのですが、乗り場とは反対の方向に出てしまったらしく、ありません。道を歩いてる方に「反対の方です」と教えて頂いて、駅まで戻りました。すぐ横のコンビニで聞きました。何も買わないのに嫌な顔しないですぐに、「駅の中央入口の方ですよ。ガストの前です。」と教えて頂きました。お礼を言い歩いていくとバス停がみえました。どれに乗っていいかわ

からず、一人で歩いてきた高齢のおばさまに「ナゴヤドームに行くにはどのバスに乗ればいいでしょうか。」とお尋ねしたところ、「私も同じ方向に帰るので、一緒に行きましょうね。」と案内して頂きました。バスの中でも「矢田南」という所で降りるといいわよ。私の方があとからおりるわね。」と私の不安をとりのぞこうとして、話しかけて下さっていました。本当に嬉しかったです。バスのアナウンスでも、「ナゴヤドームはここで降りになると。」と流れると、ほらね、当たってたでしょというような顔をされて、「じゃあ、気をつけて楽しんで来てね。」と、最後まで見送ってくださいって本当に親切にして頂いて大変助かりました。

あり、可愛い箸置きを一つ購入して先生のブースに行きました。先生に買ったばかりの箸置きを見せながら、先生のところの招き猫がかわいい目についたので、どこにあるか聞いて、まねき猫も一つ購入しました。お隣のブースは、焼き物のようで、亀の焼き物が、三、四十センチほどの大きな長寿がめで、甲羅をなでると長生きすると書いてあります。思わずなでるとお店の方が話しかけてきて下さいました。店内には、ひっくり返っておなかを出しているカメ、大笑いしているため、入れ歯が落ちそうな来年の干支のうまなど、ともかく笑い顔の物ばかりが置いてあります。「出張焼き物教室」と書いてあるのが目に入ります。思わず、「大垣で風地蔵というお店をしているんですけど、うちでぜひ。」と言っていました。「えっ何？地蔵？」「そうですね風に地蔵で風地蔵です」「えっ！。うち、地蔵様をつくる教室が一番人気です。」意気投合して見せて頂いたのが、かわいらしい笑顔のお地蔵様で、「写メとってもいいですか！」と言っていました。お地蔵様も、馬もカメ

一月号自分が泣くとき

人が死んだ時にしか泣かないと決めている。映画をみても、小説を読んでも、スポーツで感動しても涙を出さない。

身近な人のお通夜に家族そろって出席した。1年に2, 3回しか会わない人だが、若くして急に亡くなった。次男5歳を膝に乗せ、こみ上げるものがあった。涙が出た。手がふさがっていてハンカチで拭けない。

「お父さんの涙」を初めて見た子供は驚いていた。大きい声で「大人の男のひとでも泣くの？」周りの涙を誘ってしまった。恥ずかしい。

子供の葬式に出る父親。見ていられなかった・・・

ひとは誰かが死んだ時にしか深く考えないことがある。「自分が生きていること」そして「自分が死んだ時のこと」それと「周りの大切なひとが死んだ時のこと」

小さな声でつぶやいてみる。「生きる」と。

庭師 奥田良樹

もとらせて頂いて、住所と電話番号を渡しました。もう一軒、先生から教えて頂いた店へ向かいます。染付の技能賞をとられています。陶板をほって、染付けをして、富士山に桜が彫つてあるものなど見惚れていました。雛人形や、五月人形、干支の置物、ともかく見ていて感動です。少し休憩をしながら、有田焼、伊万里焼、波佐見焼、美濃焼の焼き物を見ました。美濃焼の中の一軒が、えっ、これって有田焼でしょと思うものがあり、見入ってしまった。お話をうかがって納得です。3代前

に有田の方との交流があり、有田独特の登り窯や磁器を使つて作つていらつしゃるとのこと。美濃焼は土物ばかりと思つてましたので、新しい発見でした。風地蔵にある有田焼や雑貨の良さを再発見できて、帰りはウキウキして足の痛いのも忘れるほどでした。また、人との出会い、人に助けられてるんだとあらためて感じ、感謝の一日でもありました。今日一日出会った方達、本当にありがとうございました。又来年もぜひ、行きたいと思います。